

# ほくほく鬼北 家族の絆

## 家族の支えあつてこそ

北川  
武田

英喜さん 京子さん  
庄司さん 由美子さん  
杏さん 善くん



スポーツ大好きの武田さんご家族。  
英喜さんは、昭和52年からスポーツ少年団（ソフトボール）の監督を務めており、いつも2人の息子さんをグラウンドへ連れて行き、子どもたちの指導に励んでいたそうです。

英喜さんは「自分が今まで監督を続けられたのは、家族の理解や協力があつてこそ」と話す一方、京子さんは「夫は、土日は家にいませんでした。でも、子どもたちを連れてソフトの試合や練習に行っていたので助かっていました」と話していました。お互いが理解し合っていたからこそ続けられた監督という重責。

現在は、孫の善君がソフトを始めたそうで、英喜さんは「息子と孫が、一緒に野球をしてくれるようになればいいが、孫はまだ始めたばかり。期待もあるけど本人がやる気になるまで、家族全員で見守ります」と、胸の内を語りました。

また、由美子さんは所属するバレーボールチームで、中四国大会準優勝という経験の持ち主。その経験を生かし杏さんにもバレーを教えているなど、スポーツ抜きでは語れない武田さんご家族でした。  
次回は、英喜さんの教え子の保護者である兵頭健生さんご家族です。

### 編集後記

▼これからの季節、取材も多  
く忙しい日々が続きます。取  
材は、人や地域のいろいろな  
イベントに立ち会うことがで  
きます。

子どもたちの無邪気な笑顔、  
一つのことを打ち込み真剣に  
取り組む姿、地元を盛り上げ  
ようと奮起する人―。

さまざまな人に出会い、各  
種イベントに参加し、多くの  
発見や感動を与えていただき  
ます。

本当にこれは幸せなこと、  
仕事のやりがいにもつながっ  
ています。

それらをしっかりと伝えられ  
るよう努力したいと思えます。

▼夏本番になりました。高校  
球児にとっても熱い夏の幕開  
けです。自分もかつては同じ  
立場で汗を流していました。  
勝ち負けも大切ですが、とに  
かく最後の一球まで悔いのな  
いよう頑張つてほしいと思  
います。(末)